



大学との連携で 地域活性化を



10月6日、鹿屋女子高校と鹿児島女子短期大学との連携協定調印式が行われました。この協定は、両校が相互の資源や機能等を活用しながら教育・研究の分野で協力することで、地域社会の発展や人材教育の強化に寄与することなどを目的に結ばれたもの。今後は、講師派遣による授業の実施や短大授業の体験、地域活性化に関する事業での連携などの取り組みを進めます。

優れた事業者と 技術者を表彰



10月3日、市役所で「令和5年度鹿屋市優良工事等表彰式」が行われました。これは、企業や技術者の意欲増進と公共工事の品質確保のため、市が発注した建設工事で模範となる優秀な工事を施工した事業者と建設技術者を表彰するもの。本年度は優良工事11社、優秀技術者8人が受賞したほか、若手技術者部門では次代を担う技術者3人の表彰が行われました。

八月口説踊り 伝統を伝える



10月12日、「八月口説踊り」が行われました。これは川東町八月口説踊保存会によって踊られる市の指定無形民俗文化財。午前中に和田井堰公園で水神奉納を行った後、午後からは町内の水神や田の神を巡りながら「淀の川瀬」などの音頭を披露し、感謝や安全を願いました。当日は、口説踊りの音頭と華やかな踊りを見ようと、町内から多くの人が集まっていました。

女性創業者などの つながりづくり



10月10日、市産業支援センターで「大隅ゆるっと女子会」が行われました。これは、女性の起業希望者や起業後間もない人等の交流を目的として、「鹿児島県よろず支援拠点」が大隅地区で初開催したもの。当日はグループワークなどが行われ、参加者からは「先輩起業者に相談でき、起業への1歩目につながった」「起業希望者や起業者とのつながりができた」などの声が聞かれました。

王子町鉦踊り 小学生が町内巡行



10月15日、王子町周辺で「王子町鉦踊り・銭太鼓」の町内巡行が行われました。これは、旧暦の8月28日に踊られる王子町の伝統行事で、県の無形民俗文化財に指定されています。町内巡行は、小中学生にも町内の伝統に触れてもらおうと実施され、約40人の子どもたちが参加。当日は一生懸命に踊る子どもたちの姿に、町内一円が盛り上がりを見せていました。

子どもたちと 仮装を楽しむ



10月13日、HOTEL ARUMUKO KANOYA 駐車場(向江町)で「HALLOWEEN PARTY 2023」が行われました。これは、鹿屋市観光協会と本市に滞在している米軍関係者が共催したもの。会場にはハロウィン仕様にデコレーションされた車両が並び、子どもたちがお菓子をもらってまわる「トランク・オア・トリート」方式で行われ、仮装した米軍関係者たちと一緒に写真を撮る姿も見られました。